



10時10分前は 何時何分？

今日のテーマは「10時10分前は何時何分？」

バカにしてる？と、思われそうですが、意外と奥が深い。

今日はこのテーマで、言葉の意味合いやものの考え方の違いについて考えます。

ニュース番組を見て

先日のニュース番組で、「10時10分前は何時何分ですか？」という問題が出ました。私はすぐに「**9時50分に決まってるじゃないか**」と思いました。皆さんの多くも同意見だと思います。ところが、20代のキャスターや**10代・20代の若者の多くは「10時6分～8分」**と答えたのです。これは、冗談でもなぞなぞでもなく、真剣に答えた結果です。この結果を見てびっくりしたのは私だけでしょうか？

どうして…

私は、「**10時の10分前**」と捉えて「9時50分」と考えましたが、10～20代の若者たちは、「**10時10分の少し前**」と捉えた結果、答えに食い違いが生じたのです。いわゆる言葉に対する捉え方の違いです。

では、どうしてこのように捉え方が違ったのでしょうか？

有識者は、生まれ育った時代背景や生活様式の違いからではないかと解説していました。

昭和の時代は、携帯やナビもなく連絡や待ち合わせをするにしても、わかりやすい「**ちょうどの時間**」でやり取りすることが多く、また、すぐに連絡が取れないことから少し前に集合することが多い時代でした。

逆に、平成から令和にかけて、携帯やナビが普及したことにより、待ち合わせにしてもナビを見ながら「何時何分に」と**リアルタイムに時間を指定**してできるようになり、結果、「ちょうどの時間」を意識する必要がなくなったのではということです。また、時計もアナログからデジタルにとって代わったことも要因にあると説明していました。

1,000円弱でも…

言葉の捉え方の違いは、「1,000円弱」でも見られるそうです。

「1,000円より少し足りない金額」と捉えるのか、「1,000円+数百円」と捉えるのか、世代によって分かれるそうですので、身近な人同士で後ほど話してみてください。

辞書的な意味合いからすると「弱」は少し足りないという意味だそうで、「1,000円より少し足りない」が正しいようですが…

お互いの考えを尊重した対話を大事に

有識者からは、「言葉」の捉え方は時代とともに変化していくのが流れであるということでした。これまで大半を占めていた言葉の捉え方であっても、時代背景とともに別な捉え方が大半を占めればそれがスタンダードになることもある。これは言葉に限らず、物事の捉え方や考え方も同じなのではないでしょうか。

「私たちの考えが正しい」と主張するのではなく、**お互いの考えを尊重しながら自分の考えを伝えることができる対話を大切にしてい**くことがこれからの社会生活においてとても重要で、私たちの職場もそのような風通しの良い職場でありたいなあと、今回は書いてみました。